

# 日産科学振興財団 理科／環境教育助成 成果報告書

回次：第 **3** 回 助成期間：平成**18**年11月1日～平成**19**年10月31日

テーマ：学区内の緑地「鶴田沼」を活用した環境教育

氏名：長岡孝之 所属：宇都宮市立姿川第二小学校

## 1. 課題の主旨

本校の学区内には、森や湿地に囲まれた自然豊かな鶴田沼がある。本校の児童は学習時間を活用して鶴田沼に出かけ、季節の移り変わりを観察したり、清掃活動に取り組んだりするなど、自然に親しみながら、環境学習に取り組んでいる。

本校の教育目標である「心身ともに健康で、社会の変化に主体的に対応する実践力を備え、知的好奇心と思いやりにあふれる豊かな心をもちたくましく生きる児童を育成する。」をより効果的に推進していきたいと考えた。そこで、特色ある学校づくりとして、地域の鶴田沼をはじめとする、素晴らしい自然環境やその他の社会環境を生かした豊かな体験活動を展開することとし「環境保全に配慮した適切な行動を実践できる子どもの育成」を図っていくために、本テーマを設定した。

## 2. 準備

生活科や総合的な学習、学校行事等を通して学区内にある、森や湿地に囲まれた自然豊かな鶴田沼を体験学習の場所として活用してきた。18年度は、年度後半にそれらの活動を学年ごとに発表できるようにまとめ、「鶴田沼発表会」を実施することにした。発表のために、児童の活動の様子を写真に記録したり、学習でまとめた作品を保管しておいたりするなど、全校体制で取り組めるように共通理解を図ってきた。また、鶴田沼に出かけるたびに一緒に活動して下さる宇都宮市公園緑地課及びグリーントラスト宇都宮の方にも、協力の依頼を行ってきた。

## 3. 指導方法

- 生活科や総合的な学習、クリーン活動等の鶴田沼での活動計画時に、宇都宮市公園緑地課及びグリーントラスト宇都宮の方と連絡をとり、活動について指導していただく。
- 準備物や活動時の諸注意について児童への事前指導に十分配慮する。
- 鶴田沼での活動時には、宇都宮市公園緑地課及びグリーントラストや鶴田沼の自然を守る会の方々に協力を依頼して、小グループごとに入ってもらい、ご指導していただく。
- 児童の安全面を考慮し、低学年は保護者へ引率を依頼する。
- 学習の終了後、新聞やパンフレットの作成・発表会の実施等、各学年に応じた学習のまとめを行う。
- 学校全体のまとめとして、学校の体育館で全校生を対象に「鶴田沼環境学習発表会」を実施する。

#### 4. 実践内容

鶴田沼や地域の自然を活用した環境教育の充実を図る。

- ・生活科，総合的な学習等で，鶴田沼環境学習に取り組む。(全学年)
- ・地域クリーン活動の一環として，鶴田沼清掃大作戦に取り組む。(第4学年)
- ・宇都宮市公園緑地課，鶴田沼の自然を守る会（グリーントラスト宇都宮）・保護者等の連携・協力を得る。

実践内容

平成18年 11月 「あきとあそぼう」(生活)(1年)



「どんぐりからの森づくり」(生活)(2年)

12月 「地域クリーン活動」(学校行事)(4年生)



平成19年 1月 「姿二小の環境会議を開こうー地域の自然環境を考えよう(鶴田沼を守ろう)」  
(総合)(5年)

2月 「鶴田沼環境学習発表会」(学校行事)(全学年)

5月 「鶴田沼の自然にふれよう(春)」(総合)(3年)

「地域の環境ー鶴田沼の生き物や植物を観察しようー」(総合)(4年)

6月 「なつのこうえん・つるたぬまであそぼう」(生活)(1年)

「つるたぬまの生きものをさがしにいこう」(生活)(2年)

10月 「鶴田沼の自然にふれよう(秋)」(総合)(3年)

※ 平成19年度も2月に「鶴田沼環境学習発表会」を実施する予定

#### 5. 成果・効果

学区内の緑地「鶴田沼」を活用した環境教育を実施した結果，次のような成果及び効果が見られた。

- ・自分たちの身近な所に，自然に恵まれた「鶴田沼」があることを再認識することができた。
- ・豊かな自然に触れながら活動し，感動する心をもつことができた。
- ・活動を通して，季節の移り変わりを体感し，自然にひたることができた。
- ・身近な自然を守り続けようとする多くの人たちがいるということに気付くことができた。
- ・自分たちの地域にある豊かな自然を大切に守ろうとする意識が育った。

## 6. 所 感

学区内にある、森や湿地に囲まれた自然豊かな鶴田沼は、隣接して住宅地が広がり、その付近に住む児童にとっては、日頃から自分たちの遊び場であり、親しまれてきた。一方、同じ学区内であっても、少し離れたところに住居がある児童には、なかなか馴染みが薄かった。今回、学習の場として鶴田沼で活動できたことは、全児童が地域をより深く知る上で、価値の高いものとなった。

また、学習の場として活用するだけでなく、鶴田沼の自然を守り、育てていこうとする多くの人たちがいることを知り、その方々と同じ時間を共有できたことから、身近な環境を守ることの大切さを認識することもできた。そして、身近な環境を守るということが、ひいては地球環境保全につながるというように考えることができたことは、大変意義のある活動であった。

## 7. 今後の課題や発展性について

鶴田沼を活用した学習をするたびに、その豊かな自然に感動し、大切にしていこうとする意識が育てられていくが、時間を経るにしたがい、それが薄れていく様子がみられる。一つ一つの活動がその場限りのものではなく、積み重ねられていくためには、今後も全学年を通じて環境教育の場として鶴田沼での活動を続けていかなければならないと考える。そして、自分たちのよりよい未来のために、今何ができるのかということを実践して考え、実践していこうとする児童を育成していくことが必要である。

## 8. 発表論文、投稿記事、メディアなどの掲載記事

「鶴田沼発表会」実施

日時： 平成19年 2月15日（木） 10時30分～11時20分

場所： 姿川第二小学校体育館

内容： 各学年の学習の発表内容 各学年の学習の発表



### 鶴田沼発表会プログラム

- (1) 開会の言葉
- (2) 校長先生のお話
- (3) 各学年の発表
  - ① 第1学年 つるためまであそんだよ
  - ② 第2学年 どんぐりからの森づくり
  - ③ 第3学年 レッツゴー！ 鶴田沼自然たんけん隊
  - ④ 第4学年 守れ！ 緑の鶴田沼
  - ⑤ 第5学年 なるほど・THE・鶴田沼！！
- (4) グリーントラスト宇都宮の方のお話
- (5) 閉会の言葉



保護者、宇都宮市公園緑地課、グリーントラスト宇都宮、鶴田沼の自然を守る会の御臨席を願い、ご指導いただいた。